

建材コレクション

特集社

東京都千代田区内神田3-2-4 テイトビル 〒101-0047
電話 03(3256)3266(代表) FAX 03(3256)3264
購読料(前納) 1ヵ年73,500円 / <http://www.tokushusha.co.jp>
e-mail root@tokushusha.co.jp

—CONTENTS—

平成24年8月15日発行

第2431号

現況	2020年の住宅エコアクション宣言したプレ協	2
特集	アルミハニカム 「エントランスキャノピー／シェルター」の現況	3
	☆需要は「AHP」3社に集中 ☆11年業界出荷は前年比5%増	
	プレハブ建築協会の「エコアクション2020」	11
	「通風」絡めた節電／窓の意識調査(LIXIL)	12
	建材・住設ニュース	13
	元旦ビューティ工業、三協アルミ、LIXIL、ニチベイ、キッチン・バス工業会、 日本金属サイディング工業会、日本チタン協会、桐井製作所、建産協、鶴弥、 エーアンドエーマテリアル、杉田エース、ビュード、東邦レオ、町田ひろ子アカデミー	
	フレッシュ・ジャンプ商品 神清の遮熱三州瓦「クール・スペック」	27
	建築着工統計推移グラフ(建築着工計)	28

LIXIL

Link to Good Living

LIXILは優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

現況

2020年の住宅エコアクション宣言したプレ協

プレハブ建築協会は、1998年に環境行動宣言『環境時代のすまい』を公表し、自主的環境行動計画『エコアクション21』（2001年～2010年）に基づき、環境に配慮した住宅の提供など様々な環境行動を展開してきた。一方、今日では、社会的課題として「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を構築することが、一層強く求められるようになってきた。そこでプレハブ建築協会では、『エコアクション21』の活動実績をふまえ、これらの課題に対応し、持続可能な社会の実現を目指した環境活動をより積極的に推進するため、新たに『エコアクション2020』（2011年～2020年）を策定、実現することを宣言した。

住宅市場をリードする大手プレハブメーカーの宣言だけに重みがある。この行動目標（表）は別項に掲載した。その骨子の一部は下記のとおりだが、わが国の住宅市場はプレ協が示すように推移していくのか。

2020年環境行動目標

- ・新築戸建住宅のZEHの開発・供給を推進し、居住段階におけるCO₂排出量を2010年比戸当たり50%削減。
- ・新築低層集合住宅の居住段階におけるCO₂排出量を2010年比戸当たり20%削減。
- ・既存住宅の居住段階におけるCO₂排出量を削減
- ・事業活動におけるCO₂排出量を原単位当たり2010年比10%削減
- ・サプライチェーンにおけるCO₂排出量削減



セーキの
さわやか目かくし
◆ポリカーボネイト製の中空構造パネルを採用。
◆明るくて、見えにくいタフな素材。
○カラー【パネル】ホワイト・ブラック 【サッシ枠】ホワイト・ブロンズ・ブラック

新登場
【PCⅡ型】

■経済性に優れた特殊強化プラスチックを採用の…… **大好評** **【Dタイプ】** **セーキ販売**

アルミハニカム

「エントランスキャノピー／シェルター」の現況

重み増す「AHP」製品

今年4月、6月、住軽エンジニアリング・群馬工場、神鋼ノース・霞ヶ浦工場、フジカケプランニング・群馬工場がアルミニウム建築構造協議会（東京都中央区）に「接着アルミハニカムパネルの製作工場（AHP製作工場）」に認定された。（アルミニウム建築構造協議会は「アルミニウム建築構造物の品質、性能および安全を確保する」ことを目的に設立されている。）

AHP製作工場で生産される製品は、「発注者が最適な製作工場を選定する目安として、総合的な品質確保能力（技術管理能力）を第三者に公表する」（アルミニウム建築構造協議会）訴求力を持つもので、メーカーの営業展開にサポートする力は大きい。

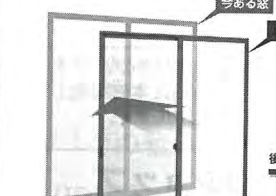
AHP製作工場においては、許可を受けたメーカー3社（住軽エンジニアリングの販売部門は住軽日軽エンジニアリング）がアルミ接着ハニカム製のエントランスキャノピー、シェルターほかを生産しているが、今回の「AHP」認定で決定的商品力を持った。

これまでエントランスキャノピー／シェルターは、アルミ接着ハニカム、アルミハニカム、ペーパーハニカム、アルミ型材、鋼板などを素材にした製品が競合してきたが、アルミハニカム系製品については「AHP」3社の製品に収斂された。

AHP3社以外のメーカー／業者の製品は今後、設計事務所、ゼネコン、施主から「AHP」と比較され、厳しい目に曝されることになる。そして、「AHP」製品は、差別性、ブランド力、企画・設計力などで劇的に重みを増していくことになる。

「AHP」3社が意識しなくても、アルミハニカム建築製品において現代風ギルド市場が進むことになる。

すでに「AHP」3社以外のメーカー・業者はアルミハニカムのキャノピー、シェルター



今ある窓
内窓
リフォームのことなら
「一新助家」店へ

後付樹園内窓
フレーム
EXCELLENT

Life with Green Technology
三協アルミ
三協アルミのリフォームショップ
一新助家
いっしょにたすけ

◎お客様相談室
☎0120-53-7899
受付時間／9:00～12:00／13:00～17:00
(土・日曜日、祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

一新助家 検索

三協立山株式会社 三協アルミ社 本社／〒933-8610 富山県高岡市早川70 <http://alumi.st-grp.co.jp/>

市場においては、業績的に埋没しつつある。3社以外は少なくとも、この市場においては、

- ・「AHP」製品をOEMで販売する。
- ・中大型物件の引合いがあれば「AHP」製品を発注者へ紹介する。
- ・品質を問わない小物件のみに自社製品を納入する。

といった途が想定されるが、「AHP」以外のメーカー・業者の変貌はすでに顕在化している。

浪速工芸社は防潮板へ軸足を移し始めた。

スガマサは実質的に撤退した。

アルミハニカムキャノピーの中堅どころは、「去年はそれなりに引き合いがあった。今年に入ってからは引き合いは1件もない」と言っている。

引き合いの皆無はそのメーカーの製品のせい、景気のせい、定かではないが、「AHP」の住軽日軽エンジニアリングの場合は、2011年度に引き合いが約250件あった。

また、「AHP」のOEMを始めているN社は2～3年のうちに「年商1億円を目指す」としており、「AHP」への傾斜をうかがわせる。

「AHP」3社は2011年度に、その他メーカーとの出荷シェアを約10%引き離れた。

企業向け、窓ガラスの遮熱・断熱による節電対策ガラスコート
監修指導付き、「HOTガードHCタイプ」材料販売スタート！！

セット価格
¥500,000
(税別)

HOTガード・HC(ハイクリア) 100㎡施工セット

1㎡5,000円 (監修・指導付き)

- ・主剤&硬化剤 : 3kg (100㎡施工分)
- ・油膜取り : 1ℓ
- ・プライマー : 1ℓ
- ・専用剥離剤 : 2ℓ
- ・施工ツール一式
- ・監修、指導料

※材料のみの販売はしていません。監修指導付きとなります。
※責任施工は、企業内、下請け施工会社もしくは、本部認定の責任施工店で1㎡3000円(税別)にて対応します。



<http://www.setsuden-eco.com>

株式会社節電ECOショップ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-25-10 浅草橋パーキングビル3F

TEL:03-5820-1665 FAX:03-5825-6504

■大阪推進本部 ■九州推進本部

TEL:06-6302-1355 TEL:092-471-7211

2011年度 2010年度
「AHP」3社シェア 91.0%↑ 80.0%
「AHP」以外シェア 9.0%↓ 20.0%

(特集社推定)

異常気象で暴風雨等への耐久性をクローズアップされた折から、キャノピー／シェルターにおいては、総合的な品質確保能力、企画・設計力が問われるようになった。

2011年度出荷は前年比5%増、「AHP」へ集中

アルミハニカム製「エントランスキャノピー／シェルター」の2011年度の業界全出荷は52.5億円(施工面積55,000㎡／特集社推定)、前年度(50億円)比105%であった。AHP 3社のシェアが増え、それ以外のシェアが減った。

2011年度の非居住建築棟数は前年比2.8%増、その内訳は、事務所棟数3.4%増、店舗棟数12.4%増、工場棟数9.1%増、倉庫棟数1.2%増。また、マンション着工戸数(棟数ではない)22.8%増であった。

2011年度のアルミハニカム製「エントランスキャノピー／シェルター」は、建築着工棟数の伸びを反映しつつ、多様化した建築物仕様の変化、他素材のキャノピー／シェルターとの競合の中で、前年比5%増という結果を出した。

2010・2011年度 アルミハニカム 「エントランスキャノピー／シェルター」メーカー出荷実績

(特集社推定)

	2011年度(シェア)	2010年度(シェア)
住軽日軽エンジニアリング	24億円(45.7%)	20億円(40.0%)
神鋼ノース	14億円(26.6%)	12億円(24.0%)
フジカケプランニング	10億円(19.0%)	8億円(16.0%)
その他	4.5億円(8.7%)	10億円(20.0%)
合計	52.5億円(100.0%)	50億円(100.0%)

注1) その他は浪速工芸社、ヒガノ、スガマサなど。

注2) 神鋼ノースは土木用含む

2012年度は全体的にAHP 3社の伸び率が高く、「その他」は減収となった。AHP 3社が「その他」のシェアを吸収した。

AHP 3社のアルミ接着ハニカム製品は需要が安定しているが、メーカーにとって手離れの悪いのが難点である。建築計画初期段階で設計図面に織り込まれるが、打ち合わせ

に長くなり、営業が刈り込むのが1～2年後になってしまう。そのため、時間のズレで販売目標値の外れることが再々ある。

また、小型物件では低コストのアルミ型材製へ流れている。

小型物件離れが進んだことからアルミ接着ハニカム製品の建築向け用途は、大型物件（エントランスキャノピー、シェルター、屋根、内外装材など）にシフトされてきた。

アルミ接着ハニカム製品（建築用）の直近の用途構成比（例）

キャノピー／シェルター 80%

内外装材 10%

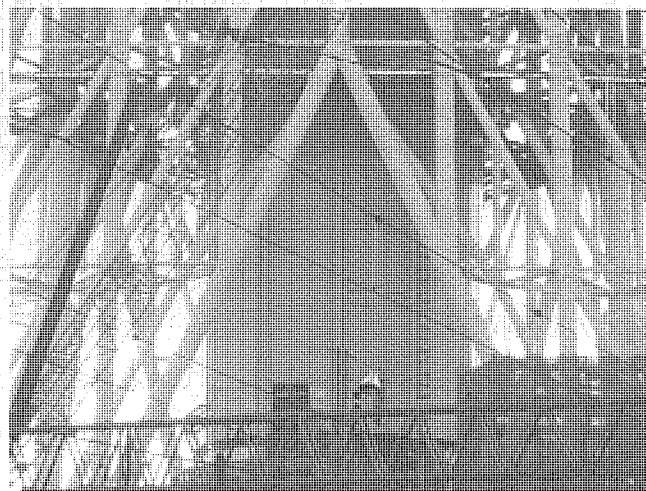
その他 10%

（住軽日軽エンジニアリングの場合）

アルミ接着ハニカムパネルは大型パネル（最大幅2,500mm、最大長さ10,000mm）に適している。これは他素材パネルの追随を許さない。単位重量当たりの比強度に優れ、支点間距離を大きくとることができる。サンドイッチ構造のパネル（パネル容積約97%がAIR層）であり、柱や取付ファスナーが軽微でその数も少ない。取付工事は短期間でできる。

軽量・高剛性、高平坦度においても他素材より優れている（メーカーはそれぞれ技術資料を公開している）ことは、内外装向けにも適していることを示唆している。

同パネル外装材の施工例で目立つのが東京スカイツリー（写真）に使われたことであろう。アルミ接着ハニカムパネルの採用部位は、高さ30m～480mのエレベーターシャフトカーテンウォール部と第1、第2展望台上部外壁、住軽日軽エンジニアリングの「パネル」が新日軽（現LIXIL）のアルミカーテンウォールユニット枠に工場で組み込まれ取り付けられた。「パネル」の総面積は、約13,000m²、総重量170トン使用された。



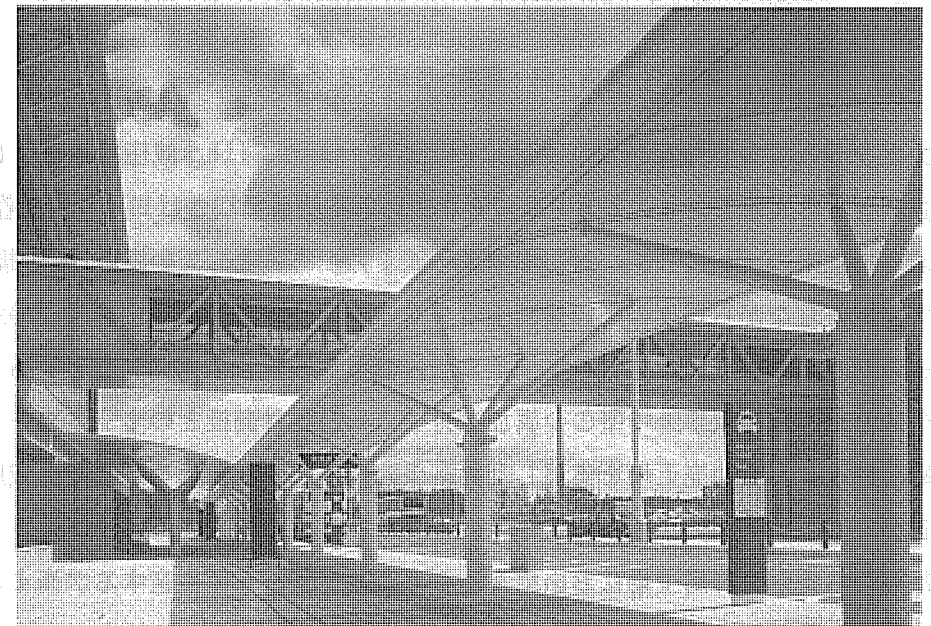
メーカー各社の動き

住軽日軽エンジニアリングの2011年度売上高は約24億円、施工面積約25,000m²であった。引き合いは約250件あったが、タイムリミットで全部の引き合いをこなすことができなかった。洩れた物件は他社へ回った。

2011年度は販売目標値には10%とどかなかった。同社の場合、アルミ接着ハニカムパネルでは道路シェルター、バス停シェルターなど、向け先は土木など多岐にわたっており、建築向けについては余力を残した営業活動を強いられた。

パネル接着において、同社は使用用途・要求性能レベルにより、シリコン系弾性接着剤とエポキシ系弾性接着剤とを使い分け、特に弾性で水に強いシリコン接着剤については自社開発、実用化（特許第3356642号）し、耐久性をアップした。また、21年間の施工実績があいまって、高品質については設計所、ゼネコンが認識しているので、概ね大型物件は同社が受注するようになった。

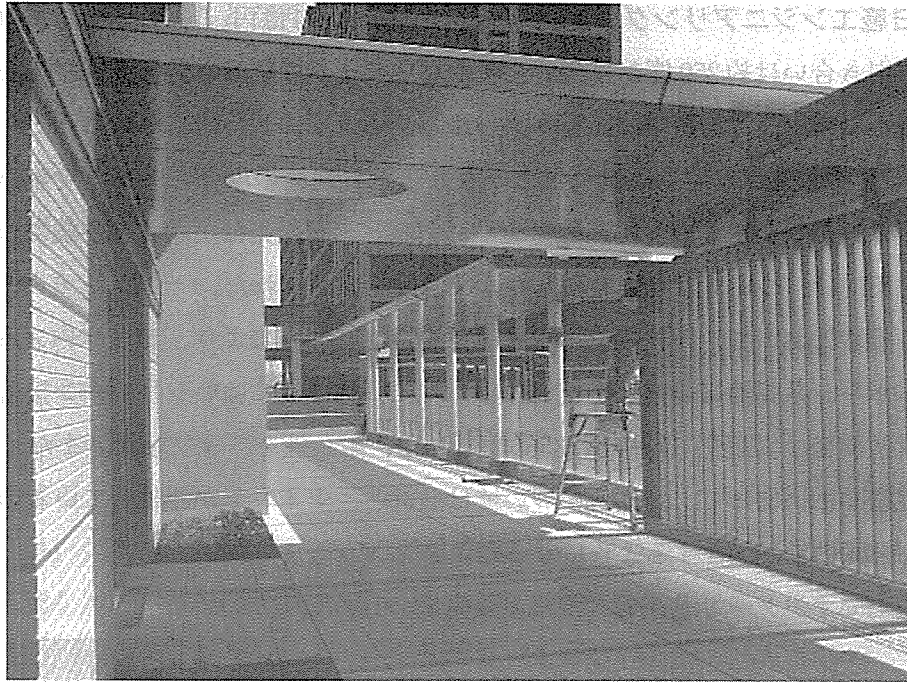
責任施工でオーダー対応95%、規格品販売5%である。



住軽日軽エンジニアリング施工例・仙台空港

神鋼ノースは、キャノピー／シェルターにおいて、長期間のメンテナンスフリーを実現する「防水システム」を開発している。従来品で課題だったパネル内部への浸水を防ぐとともに、目地部での漏水を防ぎ、ハニカムパネル自体の長寿命化を図れるもの。販売価格は従来品と同価格帯に抑えた。「防水システムは、ステンレス製防水ボルト、シリコンゴム製防水ゴム、二次排水機構の「防水3点セット」からなっており、防水性を前面に営業

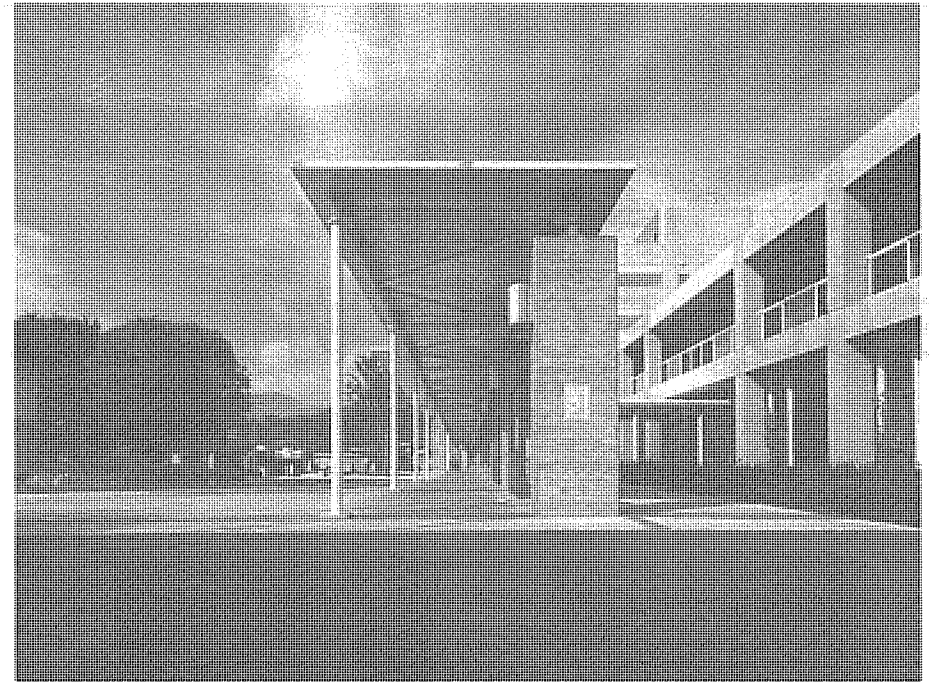
展開を進めている。親会社神戸製鋼所の地元関西地区でのシェアを確固たるものにした。



神鋼ノース施工例・高槻～医療施設シェルター

フジカケプランニング（東京都江東区）のアルミハニカムは、「減圧接着法」による高密度強制接着を実現したもので、従来のプレスによる圧着製法とは異なり、接着強度・接着において従来のプレス製法に対してコスト競争力があるとしている。「減圧接着法」はポンプで減圧しながら精度の高い強制圧着をするので、接着強度・接着時間の大幅な改善を実現した。2011年度は、学校、医療施設、商業施設、駅前再開発などからまんべんなく受注した。業界大手・中堅の金属加工メーカー、建材商社とのネットワークづくりを進め、ルートからの売上増を実現した。結果的にネットワークを通じて「減圧接着法」のPRにも奏効した。同社全体の業績ではエントランスキャノピー／シェルターの売上も堅調だったが、群馬工場において「ハニカム」と併行して生産するアルミ・ステンレス・スチールの加工品、製作ものの伸びが目立った。

その他発売元、浪速工芸社はアルミハニカムコアの生産を最終塗装までを自社工場（姫路市）で一貫生産しているという。一貫生産はコストダウンにつながる。2011年までは「AHP」3社に対する価格競争力の気配もあったかも知れない。2012年に入ってからキャノピーの引き合いが減少した（2011年は2012年よりはあったという）。同社はキャノピーについては、関西および東京でゼネコン中心に需要開拓し、ほぼ直販的行き方。キャノピーは全売上の80%、残る20%は防潮板その他で、2011年度はキャノピー



フジカケプランニング施工事例

を約1億6,000万円受注したと推定される。

引き合いが減少した因果関係は勿論定かではないが、安全性を求めるゼネコン内の空気が「AHP」と以外の製品との信頼性の温度差が出てきたのかもしれない。

浪速工芸社はさきごろ東京駅地下鉄出入口に防潮板を納入したこともあって、今後、防潮板の販売に力を入れたいとしている。

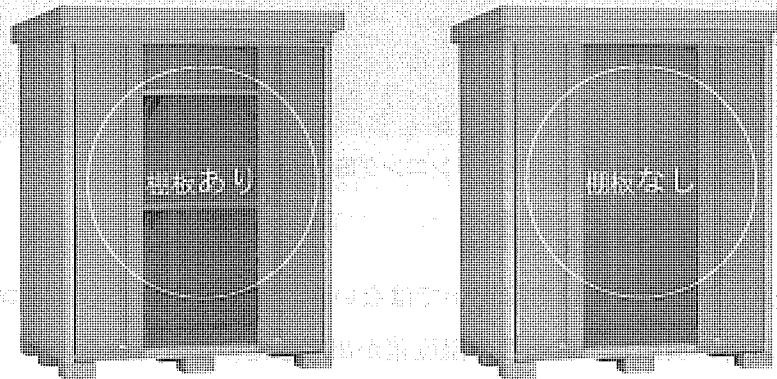
ダイケン、ヒガノ、スガマサ、田中金属などもアルミハニカムキャノピーを販売しているが、ダイケンは大型物件・住宅用を併売しているが、他社は住宅の庇向けが主体である。また、アルミ型材庇を販売している共和、インターライト、アート技研工業、カツデンアーキテックなどは、アルミ型材製がアルミハニカム製より価格が大幅に安いのでコスト高のアルミハニカム製を販売する考えはあまりないが、アルミハニカム製の引き合いがあった時は、購入販売しており、大型物件の場合は「AHP」メーカーを紹介するようにしている。

また、日本ピット、ツヅキ、井上商事など金属加工の中堅メーカーは、OEMで「AHP」相当の製品を積極的に受ける構えをみせている。アルミ接着ハニカムの市場はパイの決まっているだけに、これまで価格競争でアルミ型材キャノピー市場にくわれていたシェア（主として中型物件）を取り戻すのか、「アルミハニカム」どうしの喰い合いになるのか、今後の成り行きが注目されるところだ。

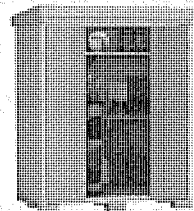
ガーデン®ハウスDM-J

エコ エコ
ECOでECOな物置です。

エコノミー
棚板のありとなしが選べて経済的です【Economy】
エコロジー
資源の無駄がないから地球にやさしい【Ecology】



用途によって棚板のありとなしが選べるのはもちろん、
収納効率の高い引分け戸に、開閉スムーズで静かな上吊り扉。
どの高さでも開けやすいユニバーサルデザイン取手、
サビに強い材質は丈夫できれいが長持ちetc. ...
使いやすさが詰まった、ダイケン物置ガーデン®ハウスDM-J型です。



モダンな
ツートン
カラー
です。



株式会社 **ダイケン**
本社/大阪市淀川区新高2-7-13
TEL: (06) 6392-5321

札幌 (011) 881-3121
仙台 (022) 235-4380
埼玉 (048) 667-9381
東京 (03) 3633-6551
東京西 (042) 567-1338

神奈川 (045) 316-3901
静岡 (054) 237-5375
名古屋 (0586) 77-7561
大阪 (06) 6392-5556
岡山 (086) 297-9100
広島 (082) 294-9181

福岡 (092) 482-8112
札幌 (03) 3633-6552

フェイスブックページ
公開中です
<http://www.daiken.ne.jp>

プレハブ建築協会の「エコアクション 2020」

2012年5月策定

環境行動目標	具体的施策	2020年目標値
① 低炭素社会の構築を目指し、住宅のライフサイクルを通じたカーボンニュートラルを推進		
新築戸建住宅のZEHの開発・供給を推進し、居住段階におけるCO ₂ 排出量を2010年比戸当たり50%削減	暖冷房におけるCO ₂ 排出量を2010年比35%削減	品確法省エネ対策等級4相当を超える住宅の開発と普及促進
	給湯・換気・照明機器におけるCO ₂ 排出量を2010年比20%削減	品確法省エネ対策4等級を超える住宅の普及
	光や風の自然エネルギーを活用	品確法省エネ対策4等級を超える住宅の普及
	再生可能エネルギーによる創エネルギー量を2010年比2倍に拡大	品確法省エネ対策4等級を超える住宅の普及
	エネルギー効率利用システムの導入を推進	品確法省エネ対策4等級を超える住宅の普及
新築低層集合住宅の居住段階におけるCO ₂ 排出量を2010年比戸当たり20%削減	暖冷房におけるCO ₂ 排出量を2010年比10%削減	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
	給湯・換気・照明機器におけるCO ₂ 排出量を2010年比25%削減	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
	光や風の自然エネルギーを活用	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
	再生可能エネルギーによる創エネルギー量を2010年比2.5倍に拡大	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
	エネルギー効率利用システムの導入を推進	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
既存住宅の居住段階におけるCO ₂ 排出量を削減	暖冷房におけるCO ₂ 排出量を削減	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
	給湯・換気・照明機器におけるCO ₂ 排出量を削減	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
	再生可能エネルギーによる創エネルギー量を拡大	品確法省エネ対策等級4相当の住宅の普及促進
低炭素型まちづくりを推進		スマートタウン等先進的取組みの普及促進
事業活動におけるCO ₂ 排出量を原単位当たり2010年比10%削減	生産段階におけるCO ₂ 排出量を削減	2010年比10%削減 (供給床面積当り)
	事務所等業務部門におけるCO ₂ 排出量を削減	2010年比10%削減 (事務所床面積当り)
	電力ピークシフトへの取組みを推進	各社取組みの事例報告
サプライチェーンにおけるCO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量の把握及び削減支援	各社取組みの事例報告
② 循環型社会の構築を目指し、住宅のライフサイクルを通じた廃棄物の3Rを推進		
工場生産・現場施工におけるCO ₂ 排出量を削減	工場生産・現場施工における供給床面積当たり廃棄物発生量を削減	2010年比15%削減 (供給床面積当り)
	工場生産・現場施工・改修・解体における廃棄物の削減と再資源化を推進	再資源化率 工場生産100%・現場施工95%・改修80%・解体90%
③ 自然共生社会の構築を目指し、地域規模から地球規模までの生態系や生物多様性の保全に配慮		
森林生態系の保全に配慮した木材利用を推進	会員各社における木材調達の管理体制の確立と「森林保全に配慮した木材」の調達の推進	2014年までに管理体制確立
地域の生態系の保全に配慮した住宅地の緑化を推進	緑化に配慮した住宅の普及促進	緑化に配慮した住宅の供給率70% (建売分譲)
生態系の保全に配慮した企業活動を推進	地域規模から地球規模までの生態系や生物多様性の保全活動を推進	各社取組みの事例報告
④ 人体や環境へ影響を与える可能性のある化学物質の使用量および排出量を削減		
生産・施工段階における化学物質対策を推進	生産・施工段階における化学物質の管理の強化	各社取組みの事例報告
	VOC大気排出量を削減	2000年比70%削減
⑤ 住宅を通じた良好な地域環境とまちなみを創出		
郊外型および市街地型住宅におけるまちなみ配慮設計の推進	まちなみ評価ツール・ガイドラインの普及	各社取組みの事例報告
	市街地型住宅に係わるまちなみデザインガイドラインの策定と普及	各社取組みの事例報告
まちなみ・景観形成に寄与する取組みの推進	お客様との対話を通じた良好な景観形成に寄与する取組みを推進	各社取組みの事例報告

「通風」絡めた節電／窓の意識調査

LIXIL

LIXILはこのほど関東および関西に住む20代から60代以上の主婦1,030名を対象に「通風」に絡めた節電および窓に関する意識調査を実施した。その結果、下記のことがわかった。

①「通風」の認知度について

- ・9割強が「通風」という言葉を知っている。
- ・「通風」の節電効果認知度は約7割。20代の節電効果の認知度は約5割にとどまる。

②「通風」のために実践していることについて

- ・「通風」を認知している人の約6割がなんらかを実践している。
- ・実践項目1位は、「窓を開ける」。ほか扇風機、換気扇の使用とつづく。

③夏場に窓を開ける回数とタイミングについて

- ・夏場に窓を開ける回数は1日、3～4回。
- ・約8割の方が「朝起きたときに」窓を開ける。

④昨年度と今年度の窓を開ける回数について

- ・例年の夏と比較し、昨年度約半数の方が窓を開ける回数が増えた。特に20代では6割弱が増えたと回答
- ・関西エリアは昨年度より節電対策の意識が高いことがわかった。

⑤実行している通風方法について

- ・ほぼ全員（98%）が認知している通風方法は「窓を開けるときは、風の入口と出口の2箇所開ける」。
- ・外は風がない状態での通風方法や室内に熱気がこもった状態での扇風機を利用する方法は、過半数が認知していない状況。

これとは別に、LIXILでは顧客に対して、商品やサービスを通じて“がんばりすぎない節電”を提案している。また、節電のアイデアブック「節電対策アレコレ」を発行し、全国のショールームで顧客に無料で配布しているほか、「通風・創風設計サポート」で最適な窓サイズ・種類・配置を提案するサービスをプロ向けに5月1日より開始している。6月からは自然の風を室内に行き渡らせる「通風建具」（ルーバードア／引戸）を発売している。一方、玄関に網戸を取り付けることで風の通り道をつくることのできる横引き収納網戸「しまえるんですa」など、通風に役立つ商品も多数発売している。

建材・住設ニュース

屋根材

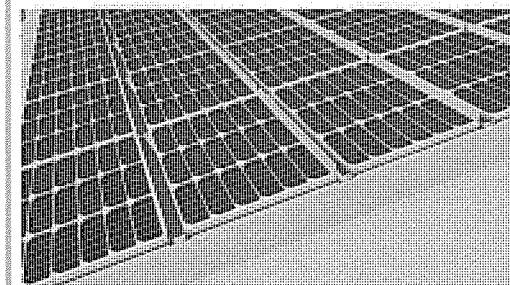
「元旦ウイング・ソーラー空気流動システム」開発

太陽光パネル裏温度抑制 元旦ビューティ

元旦ビューティ工業は、太陽光パネル裏面の空気を流動させ、温度上昇を抑制するシステムを開発、「元旦ウイング・ソーラー空気流動システム」として商品化、7月26日に発表した。同社はかねて屋根に設置した太陽光パネルが高温によって発電効率を低下させてしまうことに着目していた。「元旦ウイング・ソーラー空気流動システム」は、第18回建築・建材展で公開した、両面発電ソーラー「Sun-Both（サン・ボース）」（屋根一体型ソーラー）と組み合わせることで従来製品と比較して発電効率を大幅に改善できるとしている。積雪対策として雪止め機能により、雪の落下、滑落事故を抑制すると共に、融雪を促進する安全第一の新しいシステムとした。モジュール裏面の高温空気層を、自然の風力で強力に排出させて、一般ソーラー工法に比べ発電量を向上させることを可能にした。特に、猛暑の夏に効果を発揮する。同社内試験値では、モジュール裏面の温度差15.8℃（瞬間最大値）、発電量の差＝44.6%（同）、発電量の差一日平均値＝10.0%を実現した。同システムは、折板・角波・棒瓦など、どんな屋根にも設置可能で、全国700社の施工組織「元旦会」が責任施工する。「元旦ウイング・ソーラー空気流動システム」＋「Sun-Both」に加え、すでに市場投入した「ノンシャドウソーラーⅡ」「マッターソーラールーフⅡ」「サンパステム」「サンピカ」「元太」などで、同社ソーラー

雪止め兼工アーチェンジPV

安全第一 元図 ウイング・ソーラー空気流動システム



発電屋根は多様な建物・屋根に対応できる体制が確立した。発表会に先立ち、同社の船木元旦会長は「当社始まっていろいろの新製品と自負している。山梨工場で納得するまで実験し、素晴らしい技術と自信を持っている。コストも従来品とほとんど変わらない。安全第一を考えて雪止め機能を設け、自然の風で温度を下げるエコ効果、どんな太陽電池モジュールに対応できるなど、商品全体では一石二鳥どころか、三鳥、四鳥の効果がある商品と考えている。」と語った。

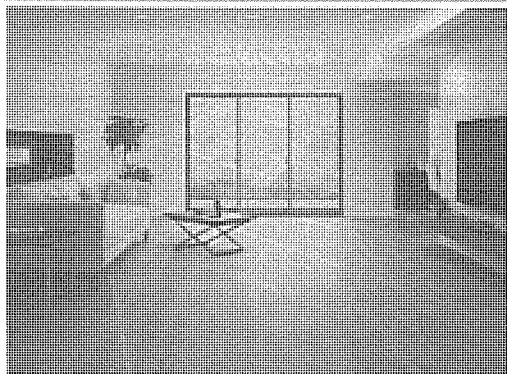
内装材

「Sフロア」、上り框・付け框発売

三協立山

三協立山・三協アルミ社は、シート仕様で色違い・色ムラが少なく、美しい仕上がりの床材「Sフロア」を7月から発売した。併せて、上り框・付け框（シート仕様）のカラーバリエーションを拡充した。「Sフロア」の発売により、提案できる床材と室内建具とのコーディネート幅が広がった。カラーバリエーションは11種類。仕上げ加工は、うづくり仕上げ、精肌仕

建材・住設ニュース



上げ、粗肌仕上げの3種類。床暖房対応、熱に強い、ホットカーペットOK、低ホルムアルデヒド仕様、低VOC仕様、4VOC基準適合、ノンワックス、耐キャストなど住まう人の健康と生活スタイルを考えた機能をクリアした。価格例はサイズ1,818×303×12mm、26,500円/セット。

LIXIL ニュース

「LIXIL ショールーム東京」オープン 首都圏最大級、商品を一堂に揃える

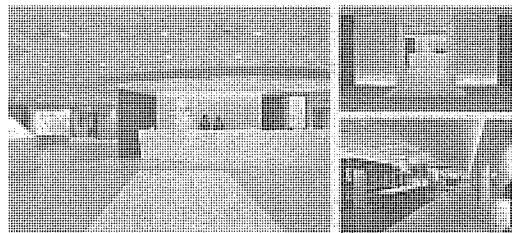
LIXILは、首都圏最大級のスペースをもつ新旗艦ショールーム「LIXIL ショールーム東京」(東京都新宿区西新宿8-17-1)を8月17日に新設オープンした。LIXILブランド体験の場として、また総合住生活企業としての情報発信拠点として、豊富な商品・サービスを提供することでひとりひとりに“いい住まい、いい暮らし”を体験してもらい、実現するための手伝いをする新しい形のショールームとしている。「LIXIL ショールーム東京」は約5,280m²(約1,600坪)のスペースにLIXILグループの住まいに関する豊富な商品を一堂に揃えた、首都圏

最大級のショールーム。気づきを提供する「いい暮らしゾーン」、感じてもらう「いい住まいゾーン」、選んでもらう「商品選定ゾーン」という館内配置となっている。入口となる7階フロアでは、“いい暮らし”を考えるきっかけを提供するデジタルサイネージやLIXILが考える“いい住まい”を具体化した5つのモデル棟が展示されている。また、生木の植栽を配した環境コリドール(回廊)を配置し、気持ちの良い環境共生型生活を体感できる。一方、6階フロアは、約2,640m²(約800坪)もの広大なフロアにLIXILグループの住まいに関する豊富な商品がパサージュ(通り道)沿いにずらりと並び、コーディネート空間を確認しつつ楽しみながら様々な商品選定が出来る「商品選定ゾーン」となっている。多様なライフステージにおけるリフォーム・新築時に役立つ、環境配慮・省エネや手入れなどの情報発信を充実させるほか、LIXILのブランド体験情報発信基地として首都圏はもちろん、広く全世界の方を迎えるのにふさわしい旗艦ショールームを目指している。

■「グランドオープニングイベント」開催

期間：2012年8月17日(金)～9月17日(祝・月)

「植村花菜&トムセン陽子 ミニライブ+トークショー」や「鹿島アントラーズ選手がやってくる!」、「ハマック柳田 笑魔術!」他、バルーンアートや似顔絵のプレゼント、加熱機

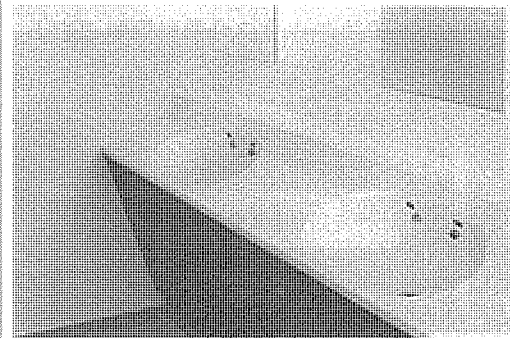


建材・住設ニュース

器の実演会、防犯や地震セミナーなど様々なイベントを開催している。

「ノセルカウンスラント」新発売 パブリック洗面 LIXIL

LIXILは、INAXブランドから、充実した荷物置き場と水濡れを軽減する形状が特長で、化粧直しのしやすさにも配慮したパブリック洗面「ノセルカウンター スラント」を8月1日から発売した。同製品は利用者の声に応え、荷物置き場を充実させたほか、カウンターの水濡れを軽減するように配慮した商品。荷物置き場として、洗面カウンター上部にドライエリアを設け、足元にはキャリーバッグを置ける空間を確保、さらにカウンターの縁は傘をかけることができる形状にした。また、手が奥まで入るボウルの形状で水はねを軽減、傾斜のあるカウンターで水が溜まりにくくした。さらに、足元にゆとりをもたせたことで鏡に近づくことができるようになり、化粧直しも楽に行うことができる。メンテナンス面では、継ぎ目のないボウルや凹凸の少ない水栓金具で清掃性にも優れ、立ったまま水石けんの補給ができる構造となっている。LIXILではオフィス、交通機関、商業施設などの公共の洗面空間を利用する人が求め

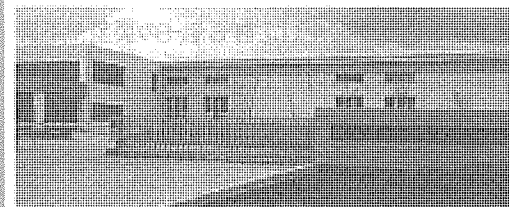


る使いやすさや、オーナーの方が求める清掃性、デザイン性なども充実させた公共施設向け洗面空間の提供を今後も展開していくとしている。

「瀋陽驪住建材有限公司」

中国国内向け陶板生産開始 LIXIL

LIXILは、中国市場での需要獲得とブランドの定着を目指して、2010年12月に中国の遼寧省瀋陽(しんよう)市法庫県に陶板(外壁用大型タイル)製造会社「瀋陽驪住建材有限公司」を設立し、工場の建設を進めてきたが、このほど開業の準備が整い、2012年7月21日に開業式を行った。中国国内におけるLIXILグループの工場としては、19箇所目となる。瀋陽市は中国・東北地方の拠点として、広域交通インフラ整備や国家級の経済開発区が許可されるなど、目覚ましい発展を続けている。2013年に開催される「中国人民体育大会」の関連施設の建築計画や市政府所在地の移転計画に伴う総合都市計画などが進行しており、大規模な需要が予想される。外装建材の中でも、中国国内の陶板市場は堅調に推移している。LIXILはこの市場への商材の供給拠点として、遼寧省および瀋陽市の協力の下、瀋陽市法庫県の「遼寧法庫経済開発区」に陶板製造会社「瀋陽驪住建材有限公司」を設立、今回の開業となった。



瀋陽驪住建材有限公司 外観

建材・住設ニュース

水戸工場を9月末に閉鎖

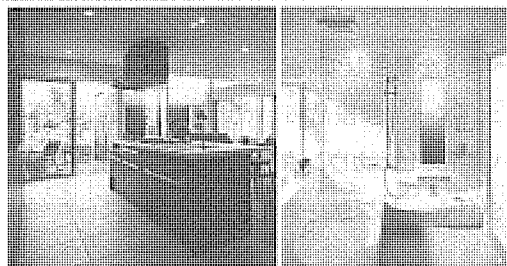
LIXIL

LIXILは水戸工場（茨城県常陸大宮市／正式名称：サンウエーブ水戸(株)）におけるシステムキッチンの製造部門をグループ内の拠点に移管・集約し、同工場を2012年9月末をもって閉鎖することを決めた。同工場は1996年4月にトステム水戸(株)水戸工場として、東日本エリアにおけるトステムブランドのキッチン・洗面化粧台の生産拠点として稼働開始した。その後、グループ会社におけるブランド統合により2010年10月にサンウエーブ水戸(株)へと称号を変更し、LIXILにおけるサンウエーブブランドのシステムキッチン生産を担ってきた。今回、LIXILのキッチン事業における生産拠点の集約効率化策として、同工場の生産品目を深谷工場（埼玉県）及び桐生工場（群馬県）、可児工場（岐阜県）に移管し、2012年9月末をもって閉鎖することを決めた。

「第6回キッズデザイン賞」で2部門

LIXIL

LIXILは「第6回キッズデザイン賞」（主催：特定非営利法人キッズデザイン協議会、後援：経済産業省）において、使う人の行動や心理に基づいて開発されたシステムキッチン「サンヴァリエ〈リシェル〉」、ユーザーの要望や不満を継続的に調査し人間工学、生活工学的な視点から快適な入浴の実現を追求したシステムバスルーム（「グランデージ」「ラ・パス」「リノビオ」等）が2部門で受賞した。今回の受賞によ



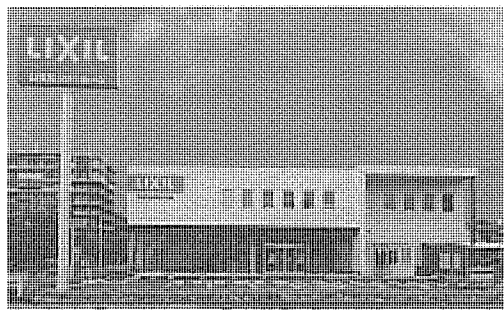
システムキッチン「サンヴァリエ〈リシェル〉」(左)とシステムバスルーム「ラ・パス」(右)

り同社では6年連続でキッズデザイン賞の受賞となった。

「LIXIL ショールーム熊本」がオープン

県内最大級

LIXILは県内最大級の展示スペースをもつ「LIXIL ショールーム熊本」（熊本県熊本市南区田迎1-9-10）を、7月28日（土）にオープンした。熊本県が力を入れている太陽光発電システムを設置した最新の環境配慮型モデルルームを展示するなどLIXILグループの豊富な商材を一堂に見ることができる九州初の新設ショールームとなる。「LIXIL ショールーム熊本」は850㎡（約258坪）と、住設メーカーとして熊本県内最大級の展示スペースを持つ。展示の特長として、家づくりのイメージを膨らませやすいよう、実際に住んでいるような感覚で商材



建材・住設ニュース

を確認できる空間展示を充実させている。また、断熱窓や節水トイレなどの省エネ商材はもちろん、屋外展示のカーポートに設置したソーラーパネルで発電した電力を最新の環境配慮型モデルルームに引き込み、HEMSによる電力の見える化なども行っている。さらに、LIXILショールームとして全国で初めて、館内で消費する電力の一部に、屋上に設置したソーラーパネルで発電した電力を利用するなど、建物全体の省エネ化を目指した環境配慮型ショールームにした。「LIXIL ショールーム熊本」では、地域に愛されるショールームを目指し、イベントの積極的な開催などを通じて、年間来場者数18,000組（月間1,500組）を目標としている。交通は、

●JR「平成」駅下車、平成大通りを南方面へ徒歩15分（さくら通り沿い）

●交通センターより熊本都市バス野越団地行き「足原橋」下車（乗車時間約25分）、東方面へ徒歩10分。

●熊本インターより東バイパスを南へ約30分、流通団地交差点を右折し3つ目の信号を右折、平成けやき通りに入りさくら通りへ左折。

TEL: 19-1001

LIXIL「森でe(いい)こと」活動開催

LIXILは環境保全のためのボランティア活動である「森でeこと」を7月7日に茨城県土浦市の穴塚で開催した。茨城県では7回目の開催となる今回は、総勢63名が参加し、竹の広がりを抑えるための竹の伐採作業を行った。LIXILでは地球への負担をへらすことに果敢に挑戦し、大地からの贈りものを大切にいかしな



倒れた竹をさらに小さく切ります

がら、生きものや自然をまもるための知恵を高めていくことを目指して、継続的な活動を行っている。LIXILは昨年4月にトステム、INAX、新日軽、サンウエーブ工業、東洋エクステリアの主要事業会社5社が統合してできた会社。統合以前から各事業会社で独自にCSR・環境活動を展開していた。そのひとつが森林や身近な里山を守る「森でeこと」の活動。茨城県での「森でeこと」の活動は、2009年より認定NPO法人「穴塚の自然と歴史の会と協働し、茨城県土浦市穴塚にある里山の保全をおこなっている。旧INAXとして2009年から2011年4月までに通算4回の活動を開催し、LIXILとしては2011年6月と11月に開催している。里山の自然観察や、谷戸といわれる湿地の水源や水路の整備、在来種にとって有害な外来種の撤去などを行っている。

LIXILブランド 新テレビCMスタート

「暮らしを育てる。」をキーワードに

8月3日より全国で

LIXILブランドが提供する価値を表現した新テレビCMを、8月3日から8月30日の期間、主要テレビ局で放映している。今回のテレビ

建材・住設ニュース



LIXIL 新テレビ CM
「暮らしを育てる。／新しい暮らし篇」

CMでは、俳優の松山ケンイチさんと女優の広末涼子さんが「暮らしを育てる。」をキーワードに、仲が良く元気のいい夫婦役を演じる。「暮らしを育てる。／新しい暮らし篇」では、松山ケンイチさんと広末涼子さん演じる夫婦が、二人でどんな暮らしがしたいか、どんな家にしようかを話し合いながら、窓・キッチン・バスルーム・トイレと一つ一つ丁寧に選んで建てた新築の家に引っ越し、二人で掃除をしたり、広い窓から外を眺めたり、バスルームではしゃいだりするストーリーとなっている。一方、「暮らしを育てる。／ホームパーティー篇」では、新しい家にお互いの友人を招き、収納が豊富な対面キッチンで一緒に作ったロブスターを使った料理を振る舞ったり、最新のトイレを自慢したりする賑やかで明るいストーリーとなっている。

インテリア

映画・テレビ番組に美術協力

ニチベイ

ニチベイは、7月公開以下の映画・テレビ新番組ドラマにおいて、商品の美術協力を実施した。

【映画】

◆海猿 BRAVE HEARTS

配給 東宝

公開日 7月13日(金)

協力商品【総合対策室・廊下セット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：B1203(スモークガラス)

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C405

◆エイトレンジャー

配給 東宝

公開日 7月28日(土)

協力商品【ヒーロー協会理事長室セット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C108

【ドラマ】

◆ビューティフル・レイン

メディア フジテレビ系列

放送日・時間 7月1日～毎週日曜日

21:00～21:54

協力商品【病院診療室セット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C103

【西脇アカネ宅セット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C406

◆GTO

建材・住設ニュース

メディア フジテレビ・関西テレビ系列

放送日・時間 7月3日～毎週火曜日

22:00～22:54

協力商品【学校セット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C043、C103

【カフェセット】

・ウッドブラインド「クレール」ベーシック

スタイル ワンコントロール式

カラー：K108(オーク)、

K109(ダークオーク)、

F104(ダークベージュ)

◆サマーレスキュー ～天空の診療所～

メディア TBS系列

放送日・時間 7月8日～毎週日曜日

21:00～21:54

協力商品【大学病院 医師控室セット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C420

・パーチカルブラインド「アルベジオ」標準

タイプ コード式

カラー：A6826(ミストグリーン)

◆息もできない夏

メディア フジテレビ系列

放送日・時間 7月10日～毎週火曜日

21:00～21:54

協力商品【ケーキショップセット】

・ベネシャンブラインド「ユニーク25」標準

タイプ スーパーボール式

カラー：C021

・パーチカルブラインド「アルベジオ」標準

タイプ コード式

カラー：A6826(ライトクレープ)

・ロールスクリーン「ソフィー」標準タイプ

スプリング式

カラー：N6232(ライトクレープ)

【区役所セット】

・ベネシャンブラインド「ユニコンモア50」

標準タイプ ワンコントロール式

カラー：C017

住設機器

PL 関連講演会、10月開催

キッチン・バス工業会

キッチン・バス工業会PL関連委員会は活動

項目に計画していたPL関連講演会を今年10月

15日に開催する。今回は、独立行政法人 産

業技術総合研究所の西田博士に講演を依頼し

た。昨年、ハウステックホールディングスの星

田社長の紹介で、子どもの事故防止に取り組ん

でいる小児科医の出口貴美子氏と一緒に工業会

にきて、「キッズデザイン」への取り組みを紹介

した。それを縁に、今回「キッズデザイン」

の考え方に基づいて、子どもの安全に配慮した

製品づくりを行うための科学的なアプローチの

最新の動向や、現在、設計者が利用可能なデー

タについて語ってもらうことにした。

日時 平成24年10月15日(月)14:00～16:30

会場 メルパルク TOKYO 4階「孔雀」の間

(TEL 03-3433-7211)

東京都港区芝公園2-5-20)

講師 独立行政法人 産業技術総合研究所

建材・住設ニュース

西田博士

講演内容「キッズデザイン」を踏まえた、

KB工業会の課題について

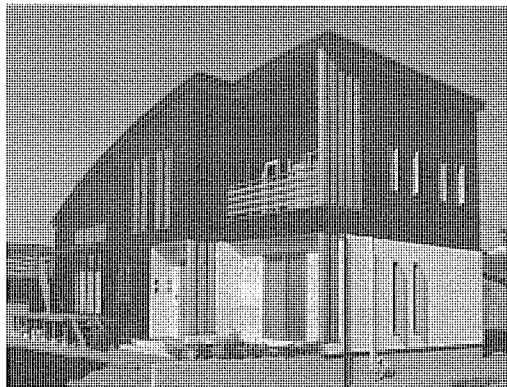
会費 無料

定員 100名(先着順)

外壁材

第 11 回施工例写真コンテスト募集開始 日本金属サイディング工業会

日本金属サイディング工業会は、恒例の施工例写真コンテスト(第11回)を開催し、応募作品の募集を開始した。同コンテストは日本鉄鋼連盟の後援で毎年実施しているもので、同工業会加盟8社が全国の設計事務所・工務店・板金店等の協力を得て本年7月1日から10月31日の応募期間に施工写真作品を集め、翌年2月に作品審査、同3月に入選作品(最優秀賞:新築部門・リフォーム部門各1作品、優秀賞:8作品、入選賞:40作品)を表彰する。江口恵津子氏(インテリアコーディネーター、ヴェルディッシモ:代表取締役)と、杉田宣生氏(一級建築士事務所・ハル建設研究所:代表)が特別審査



第10回最優秀賞/新築部門

員を務める。対象作品は、新築及びリフォームで建物の外装に工業会加盟各社の金属サイディングを使用したもの。選考基準は、新築は意匠性・高級感・コーディネート感覚等トータルでバランスのとれた作品、リフォームは施工前と施工後で優れたイメージアップがみられる作品としている。詳しい応募要領は、同工業会のホームページ(<http://www.jmsia.jp/> 新着情報のお知らせ)より入手可能。また、今回11回目の実施に当たり過去5年のコンテストで最優秀賞に選ばれた入選作品の写真集チラシを作成配布し、更に一層意欲的な作品の応募が増えることを期待している。金属サイディングの耐震性(軽量、建物等躯体への少ない負担)と優れた施工性(簡単な施工、短期間仕上、脱落不安なし、改修が容易)が昨年の震災以降、今まで以上に評価され、平成23年度の工業会全体での出荷量は前年比12.3%増の14,607千 m^2 と大幅増となった。同工業会は、前年度に引き続きコンテストへの応募作品数に応じた金額を、東日本大震災の被災者支援のための義援金として日本赤十字社を通じて寄付する。

チタン

2011年チタン建材完工大幅増

日本チタン協会

日本チタン協会集計によると、2011年チタン建材の完工実績は、61トン、26,480 m^2 で前年(21トン、7,005 m^2)と比較すると、重量・施工面積ともに大幅に増加した。この需要増の原因は海外大物件の中国合肥滨湖国际会展中心

建材・住設ニュース

(21トン、13,000 m^2)や、韓国のビル(10トン、4,300 m^2)等が完工したことによる。国内需要のほとんどは2005年から急速に需要が伸び始めた寺社仏閣、一般住宅・民間中小物件だが、久しぶりにヒロセ電機(10トン、4,300 m^2)からを受注した。

内装材

日建設計と「高耐震天井」共同開発

桐井製作

桐井製作所は日建設計と吊りボルト圧縮補強材と耐震ブレースとで構成する天井の高耐震化システムを開発中。この開発により在来天井は勿論のこと、グリッドシステム天井等にも採用ができ、大地震や度重なる余震に耐えられなかった天井崩落による事故を防ぐことができる。本開発は7月20日に都内で行われたNSRI都市・環境フォーラム2012で公開された。今まで問題となっていた大地震時の吊りボルトの座屈による天井崩壊・落下を吊りボルト圧縮補強材とX型耐震ブレースにより吊りボルトの座屈や天井面の揺れを抑えることができるもの。後施工(取り付け)が簡単で既存天井の耐震化で問題となっていた吊り元へのアプローチも不要。また従来の耐震天井より耐震ブレースの数を減らすことができ(同社比)、コスト面でも効果的。すでに特許出願済みであり、年末にも開発完了予定。開発の特長は次のとおり。

- ・吊りボルトの圧縮補強材を中心とした高耐震天井として、既に特許出願済み。
- ・在来天井工法から最新のグリッドシステム天

- 井まで、幅広い耐震天井設計に採用できる。
- ・後施工が簡単で、既存天井の耐震補強工事にも利用できる。
- ・コンパクトなX型耐震ブレースを採用することで、天井内のスペースを有効に活用できる。
- ・建物によっては、単位面積当たりの耐震ブレース数を削減できる。

建産協

タカラボ掲載カタログ10万ページ突破

建産協

日本建材・住宅設備産業協会の建材・住宅設備機器のカタログサイト「カタラボ」は、5月の月間ページビューが2,000万台に突入し、6月は2,179万超のアクセス数となった。掲載カタログも10万ページの大台を超え、業種、メーカーともにますます充実し、このカタログボリュームが利用推進の原動力となっている。さらに利用者の声が要求となり、メーカー正会員の入会につながり、カタログボリュームが増すといったスパイラルとなり、まさにカタラボは建材・住宅設備業界におけるポータルサイトになったといえる。また、会員入会状況においては、流通販売系やリフォーム業系の賛助会員の入会伸長が著しい。特にこれらの利用者からはタブレット端末の普及・導入により、カタラボサイトから現場で即座に各メーカーのカタログを表示したりすることで、クライアントからの急な商品提案要望に対応できることや、何冊も重いカタログを持参することなく身軽な営業活

建材・住設ニュース

動ができること、そして常に最新のカatalogにメンテされている点で安心して利用できることが好評となっている。合わせてPC利用の際にも、昨年リリースされたペンツールや、付箋といった機能ツールを利用することで、容易にプレゼンテーション書類が作成できることもカタログサイトの利用が増大している要因でもある。(カタログサイト: <http://www.catalabo.org/>)

【前年同月比較】

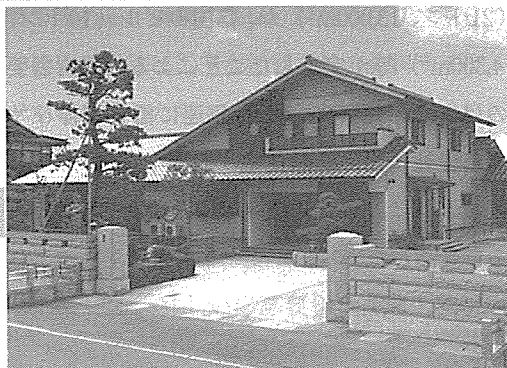
	2012年6月	2011年6月	前年同月比
会員数	259	200	130%
正会員	211	175	121%
賛助会員	48	25	192%
ページビュー	21,793,007	12,111,129	180%
掲載カタログ数	992	702	141%
掲載ページ数	104,572	58,045	180%

※ 7月20日現在、総会員数265社、
正会員216社、賛助会員49社

屋根材

鶴弥「施工写真コンテスト2011」決まる

陶器瓦メーカー、鶴弥(愛知県半田市)は、このほど「施工写真コンテスト2011」の結果を発表した。このコンテストは「屋根」をもっと身近に感じてもらい、「屋根」の重要性を再認識してもらう目的で、屋根と住宅の調和をテーマに、2007年から毎年度鶴弥が独自に実施している。昨年度は56件の応募の中から最優秀賞、各賞を決めた。最優秀賞は、有限会社藤井瓦商店(富山県射水市)(瓦施工業者)で、数寄屋造りを模した和風住宅という伝統的な様式を保ちつつも、近年のシンプルモダンを演出するすっきりとした外観、そこに鶴弥の瓦の曲線が独自の波紋を加え、住宅全体の調和が図ら



最優秀賞

れたことを評価した。

抗菌仕様で安心・清潔

0.8化粧けい酸カルシウム板「ステンド #400」

エアアンドエーマテリアル

エアアンドエーマテリアルは、0.8化粧けい酸カルシウム板「ステンド #400」の同製品が、このたび、抗菌対象製品に登録されSIAAマークを取得したことで、6月より抗菌仕様が変わったと発表した。その製品は、ハイラック(0.8けい酸カルシウム板)表面に、抗菌性をもつアクリル樹脂系塗料を施した軽量不燃化粧ボードである。抗菌仕様となったことで、清浄空間を求められる内装にも使用でき用途範囲も広がったとし、さらに、基材のハイラックは、断熱効果が高く、衝撃強度や寸法安定性等の性能に優れ、施工性は木質同様の加工性を有し、現場での加工容易にできる汎用性の高い化粧ボードでもあるとい。

■特長○化粧表面層が抗菌仕様のため、菌の繁殖を抑え、衛生環境を保つ○表面平滑性に優れ

建材・住設ニュース

●標準規格

使用基材	ハイラック(0.8けい酸カルシウム板)	
厚さ	mm	6
幅×長さ	mm	910×1820 (910×910) 910×2420 (1000×2000) 910×2730 *1
標準質量	kg/m ²	5.6

() 寸法は、受注生産となります。
*1: 910×2730は、1A・2B・3Bが常備在庫となります。

●標準物性

見掛け密度	g/cm ³	0.6以上0.9未満
曲げ強さ(タテ)	N/mm ²	10.0以上
曲げヤング率(タテ)	N/mm ²	6×10 ³
吸水による長さ変化率(タテ) %		0.15以下
熱伝導率	W/m・K	0.18以下

※試験方法は、JIS A 5430に準じます。

●化粧面の性能

試験項目	結果	試験方法
塗膜密着性	16/16	セロテープ剥離 *2
表面硬度	2H	鉛筆硬度 *2
耐水性	異常なし	常温水浸漬7日 *2
耐汚染性	残色なし	赤クレヨン24時間後拭き取り

*2: 試験方法は、JIS A 5600に準じます。

た美しい色調の内装材○乾湿が繰り返される環境でも材料収縮がほとんどなく、寸法安定性に優れた材質○軽量で粘り強く衝撃に強い材質○ホルムアルデヒド発散建築材料には含まれない告示対象外品/■用途○学校、病院などトイレなどの内壁○給食センター、厨房などの内壁○駅舎、公共施設などの内壁・天井○ビル、工場、倉庫などの一般内装となっている。詳細は045-503-5771。

建築金物総合見本市

E・S・T・A 2012 開催

杉田エース

杉田エースは、建築金物総合見本市「E・

S・T・A 2012」を、7月27、28日の両日、東京ドームシティ・プリズムホール(東京文京区)にて開催した。今回のテーマは、革新(Re:novation) 知恵×夢×勇気で、第二創業の精神で革新をの思いが込められた一つのイベントという。91社の出展メーカーがそのテーマを汲み取った製品をそろえ、全国から役3,500人の取り引き顧客を出迎えた。もちろん、杉田エースのオリジナル商品特設コーナーも設けられ、○再生ウッド「エース・ウッド」(未利用木材と再生チップをバランスよく融合した地球環境にやさしい新素材)○電動開き戸用オペレーター「ED100 & ED250」○速硬タイル接着剤「クイックTB」(磁気質タイルの速硬型接着剤)○ドレインに差し込むだけの、改修用ストレーナーキャップ「エースストレーナーキャップ」○介護現場の声を形にしたトイレ電動ペーパーホルダー「ラク・ロール」○シンプルデザインの折りたたみ収納式物干アーム「室内用サンウイング200」等が展示されていた。



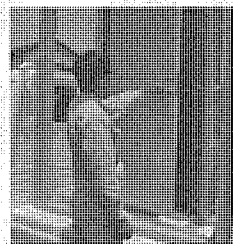
建材・住設ニュース

今回のテーマ「革新」の理念にもとづき、市場と顧客のニーズに対応した商品が、協力メーカーと一堂に揃えてビジネスチャンスの創造となる場を提供したイベントとなったものと思われる。

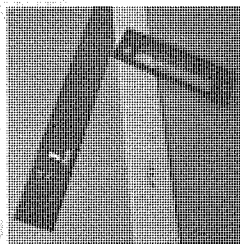
貼るだけで開かないドアを

「アケルくん」(耐震ドア) ビュード

ビュードは、地震等によるドア枠変化、錠前変形にも対応し、より少ない力でドアを開け、避難口が確保できる「アケルくん」を開発した。ドアを開けるために必要な力は、ドアの歪みが17mm(面内変形)で、200kg必要と一般的にいられているが、アケルくんを装着すると、6.12kg(ベターリビングつくば建築センター試験)と、小さな力で開けられるという。主な特長は、○薄い樹脂製の部材を、ドアの戸先側(錠前側)と上下に貼るだけの簡単施工で、目立たない○デモ機(トラックにて運搬可能)で、実験・実証できる○耐用年数は10年以上(保証期間24か月)○サムターンロックにも対応、開けられる○東京都トライアル発注認定商品○費用は低価格、一例として、1世帯のみの取付だと5万円程度、マンション等、集合住



アケルくんデモ機



アケルくん耐震ドアシステム標準セット
(アケルくん、耐震ストライク)

宅で、取付希望をまとめて、1日に20世帯の工事だと、1世帯2万円程度でできるとしており、マンションリフォーム等での提案はいかが……
☎045-264-4070。

外断熱一体型の外壁剥落防止工法を開発

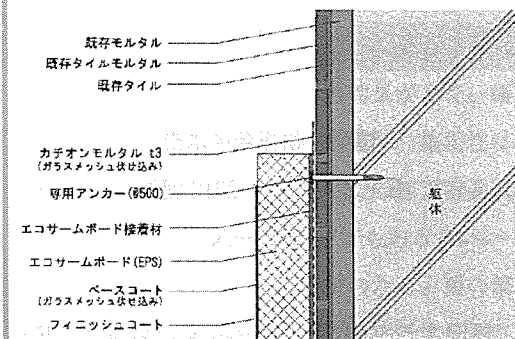
「エクセル外断熱ピンネット工法」

東邦レオ

東邦レオは、集合住宅や高齢者施設、病院教育施設などの建築物(RC造)の所有者を対象に、外壁タイルの落下防止と夏冬の節電対策を同時に実現する、低コスト型の省エネ外壁改修工法「エクセル外断熱ピンネット工法」を開発し、6月に発売開始している。

■主な特長は・タイル剥落防止機能(外壁の全面固定によるタイルの落下を防ぐ)・外断熱による長寿命化と省エネ効果(断熱材で建物を外側から覆い躯体を長期に保護、建物の室内温度が安定し省エネルギー化を実現)・補助金活用が可能(省エネ関係の補助金の活用が可能)となっている。価格は15,000円/㎡から(税別)。

構造



建材・住設ニュース

下地調査仮設足場、事前処理含まず)となっており、施工後は10年間保証制度により当該部に不備が発生した場合に無償で補修対応するとし、販売目標として3年後には、売上10億円(年間)を目指すとしている。そのために、外壁の点検やリニューアルの時期をむかえる建物所有者に対して、同工法が安全性と省エネ対策を同時に実施でき、健康な住環境を作り出すことができることを提案推進するとともに、今後もより多くの方に、事故防止の安心と快適な室内環境を低コストでできるサービス開発に努力していきたいとしている。

吉谷桂子ガーデンデザイナーに学ぶ

“ガーデン特別入門講座 9月開講!!”

町田ひろ子アカデミー

町田ひろ子アカデミーでは、この度、大人

気のガーデンデザイナー吉谷桂子氏を講師に迎え「ガーデン特別入門講座を、9月に開講する。この講座は、初心者から経験者までを対象とし、植栽の基礎知識・オーガニックガーデンはもちろん、一人ひとりのレベルに合わせた庭のプランニングが学べ、理論やHow toを学ぶだけでなく、実際のプランにチャレンジすることで理解を深めるカリキュラムとしているという。

○講座名: ガーデン特別入門講座○開港日: 9月12日~12月9日の水曜日の夜を中心に4か月(10/30、12/9のみ水曜日ではない)○開講時間19:00~21:30(12/9のみ10:00~となる)○講座数: 全10講座(4か月)○学費: 一般100,000円(入会金10,000円含む)○定員: 20名(先着順)○申込締切: 8月31日○講師: 特別講師 吉谷桂子氏、小島理恵氏(株Q-GARDEN)○場所: 町田ひろ子アカデミー 東京校 ☎03-5411-0056

【訂正】 本社発行「建材年報(住宅編)」2012年版の名簿、(株)ナガエの欄に一部ミスがありましたので、下記のとおり訂正します。社名以外のゴシック部分が訂正箇所。

(株) ナガエ

【設立】1986.7

【主な代理店】

本社 〒933-0319 富山県高岡市荒屋敷278

☎(0766) 31-2222

【資本金】5,000万円

【従業員】155人

【年商】30億円

【主な商品】物干し金物、インターホンパネル

AWAJI

Prefloor System

プレフロアーE/DHシステム(ΔL 等級対応)



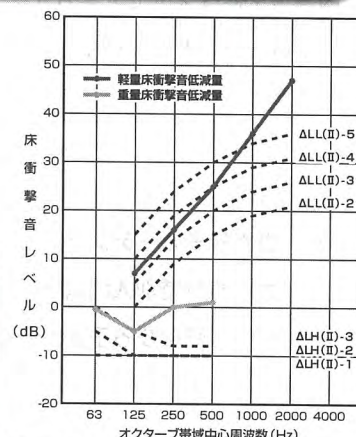
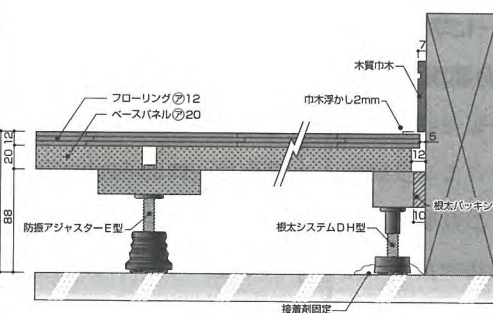
軽量床衝撃音低減性能 ΔLL(II) - 3
重量床衝撃音低減性能 ΔLH(II) - 2

※上記の試験結果は(財)日本建築総合試験所「床材の床衝撃音低減性能の等級表記方針」に基づくものです。
※上記の床衝撃音レベル低減量のデータは、壁式構造実験室における200mm厚RCスラブ上での試験結果です。
床の断面仕様や壁際納まり仕様が変更された場合には、床衝撃音レベル低減量にも変化が生じることがあります。

測定環境

試験方法: JIS A1440-1 -2
試験施設: 壁式構造実験室
試験床板: 200mm厚RCスラブ
加振点数: 対角 5 点
試験機関: (財)日本建築総合試験所
試験日: 2009年11月19日
試験番号: IVA090183 号
床仕上げ高さ: 120mm

※この断面図はE/DHシステムの試験時における納め図です。



中心周波数 (Hz)	63	125	250	500	1K	2K
軽量床衝撃音レベル低減量 (dB)		7.0	16.5	25.1	36.6	47.5
重量床衝撃音レベル低減量 (dB)	-0.4	-5.5	0.1	1.2		

測定: (財)日本建築総合試験所 試験番号: IVA090183 号

好評発売中

淡路技建「エコステップ工法」で、ゴミの減量化とコストダウン!

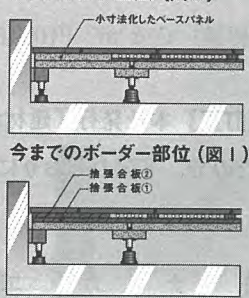
特許第24627322号

登録日 平成22年11月19日

エコステップ工法は、床暖房パネルのボーダー部に捨張合板 12mm が 2 層 (図 1) に使用される「無駄 (段差 24mm 厚分)」に着目し、床暖パネル下に AK ベニヤ 8mm を使用することで、段差を 20mm (図2) にしました。

そして、ベースパネルの切断に伴って発生する小寸法化したベースパネル (20mm 厚) をボーダー部に使用することで、合板の浪費を減らし、ゴミの減量化を図ることが可能になる工法です。詳細につきましては、営業までお問い合わせください。

エコステップ工法 (図2)



プレフロアーシステムを通して
人々の快適住環境を支える

淡路技建株式会社

■東京支店 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-7-2 スズノビル6F
■本 社 〒300-1233 茨城県牛久市栄町6-365-4

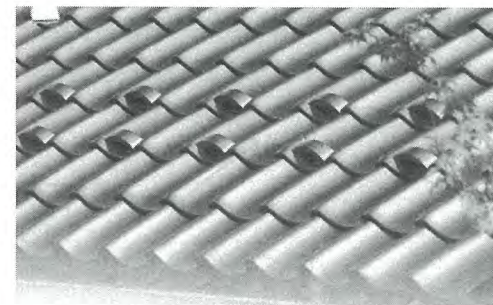
TEL.03-5822-5271 FAX.03-5822-5272
TEL.029-873-4702 FAX.029-874-4075

www.awaji-giken.co.jp

フレッシュジャンプ商品

神清の遮熱三州瓦「クール・スペック」

神清 (かみせい) の遮熱三州瓦「クール・スペック」は、粘土瓦の裏面に低放射率塗装を施した、新しいタイプの遮熱三州瓦。夏場、太陽光による熱の侵入を防ぎ、小屋裏 (いわゆる屋根裏) の温度を低く保つことができる。実験によると、従来の粘土瓦に比べ 5℃、化粧スレートに比べ 12℃の温度低下を示した。



これにより、涼しさを提供するとともに、屋根下地部材の劣化を防ぎ、住宅の長寿命化にも貢献できるとしている。

温度低下の仕組みとしては、従来の反射型製品のように表面で日射反射をさせるわけではなく、瓦裏側の低放射率塗装面が輻射熱を低減させ、熱を伝わりを防ぐというもの。

この方法の利点としては、表面の色が自由に選択できることと、表面反射と違い塗装面が汚れる可能性が極めて低いので、長期間にわたり効果が続くということ。

遮熱塗料は、アイシン化工より供給を受けている。

株式会社神清

〒475-0807 愛知県半田市八軒町28番地

TEL 0569-22-4711 FAX 0569-22-9367

NetworkRescue for AudioVideo

技術の最先端「つくば」からのメッセージ
デジタル技術を活用した一般民需サービスを展開しています。

〒300-1251 茨城県つくば市城山 9-9

電話 029 (873) 5318 Fax 029 (873) 5318

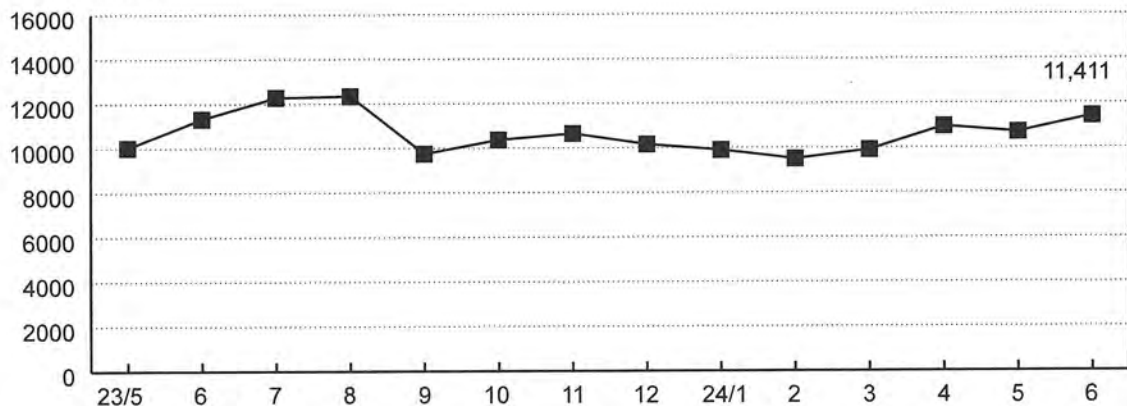
建築着工推移

(出所) 国土交通省

建築着工計

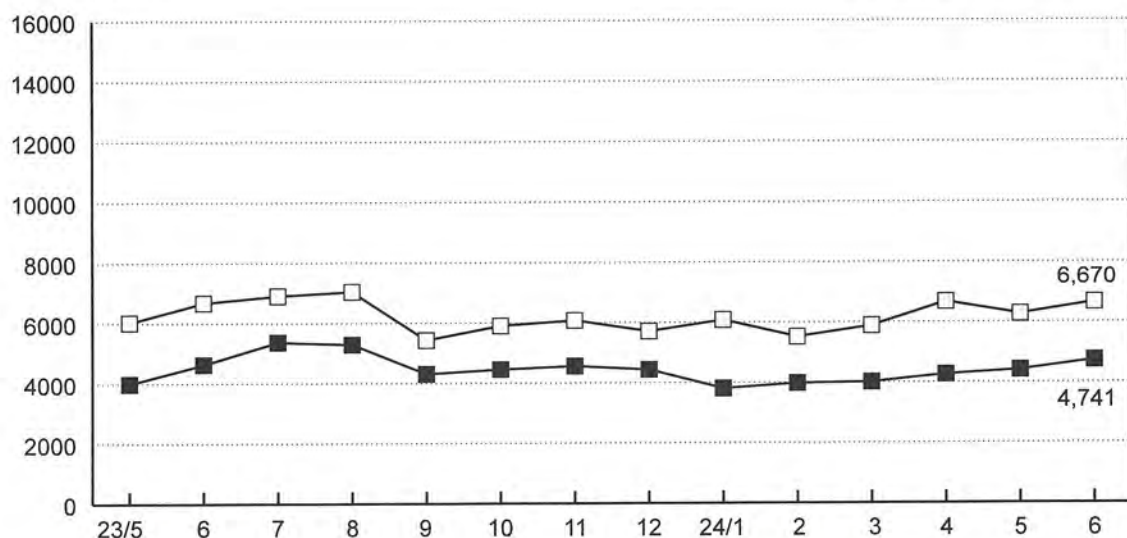
○建築物計

(千㎡)



○構造別

(千㎡ 木造■ 非木造□)



MITSUBISHI
三菱電機
Changes for the Better

ピッタリの24時間換気、
三菱なら、
きっとみつかります。

さらに充実! 改正建築基準法に対応した
〈24時間換気〉ラインアップ。

業務用途におすすめ

○店舗・事務所に



〈ダクト用換気扇〉

〈中間取付形ダクトファン〉



住宅用途におすすめ

○居室・トイレ・浴室に



〈パイプ用ファン〉

〈ダクト用換気扇〉

○居室・寝室に



〈換気空清機ロスナイ〉

○浴室に



〈バス乾燥・除湿・換気システム〉

○1システムで家全体を24時間換気



〈エアフロー連動システム〉

〈ロスナイセントラル換気システム〉

商品選定のことから換気計画のことまで、三菱電機 建築基準法
換気設備ご相談センター

0120-244672

www.MitsubishiElectric.co.jp/kankisen

三菱電機株式会社